

CBTキホン中のキホン

CBTとOSCEは臨床実習のための“仮免許試験”

CBTとOSCEの位置づけは、自動車の運転免許に例えると理解しやすいです。5～6年生で主に行う臨床実習はいわば“路上教習”に、CBTとOSCEはそれぞれ仮免許取得のための“効果測定”と“実技試験”に該当します。このページでは主にCBTについてご紹介します。

CBTはコンピュータで受験する

CBTはコンピュータを使って受験する試験です。各大学のコンピュータ端末を使って、たくさんの問題ストックからランダムに選ばれた問題を解くので、**隣の受験生と解いている問題が違う**ことになります。各大学の臨床実習開始前に行われるので、主に4年生の8～2月に実施されます。

共用試験の合格基準はこれまで各大学が独自に定めていました。しかし、平成27年度の試験からIRTを用いた合格の基準値が定められました。平成29年度の試験ではIRT359が基準値とされているようです。ただし、IRTの基準値以上の合格基準を定める学校もあるようで、一概には言えないようです。

IRTの基準値はクリアすべし！

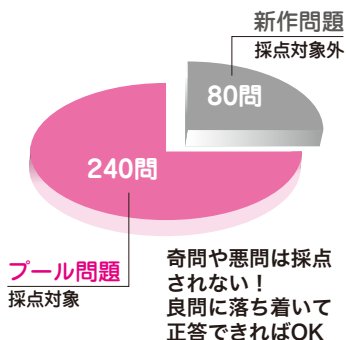
このIRTの基準値は少なくとも超えて欲しいです。そもそも、IRTとは何でしょう。CBTは受験生ごとに受ける問題が異なります。そこで、問題の難易度まで考慮した成績がIRTです。**IRTの基準値を下回った学生の国試失敗経験率は23.6%**というデータがあります（基準値以上では3.8%、厚生労働省の資料より）。CBTで基礎をしっかりと固めてから、実習や国試に臨むのが良いでしょう。

出題のメインは“病気の知識”！

CBTの出題範囲は、文部科学省によって定められた「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠しています。基礎から臨床、社会医学まで幅広く問われますが、出題率からいうと、**半分以上は「病気の知識」を問うもの**です。

“プール問題”に正答しよう

「プール問題」とは、前年までの試行により正解率などが判明している問題のことです。プール問題は現在までに**20,000問以上**もストックされているといえます。実際のCBTでは、プール問題から240問と、次年度以降のプール問題候補として新規に作成された新作問題80問が出題されます。**採点対象となるのはプール問題だけ**ですが、どれがプール問題なのかは受験生にはわかりません。目安としては、奇問や悪問は原則的にプール問題にはならないので、**良問に安定して正答できればよい**と考えるのがいいでしょう。



CBT 出題形式

▼CBTの時間割

ブロック	問題形式	問題数	制限時間
ブロック1	単純5肢択一	60問	1時間以内
ブロック2	単純5肢択一	60問	1時間以内
ブロック3	単純5肢択一	60問	1時間以内
ブロック4	単純5肢択一	60問	1時間以内
ブロック5	多選択肢型	40問	1時間以内
ブロック6	順次解答型4連問	40問	1時間以内
ブロック7	アンケート		

CBTは上のような時間割で出題されます。CBT特有の出題形式もあるので注意！

単純5肢択一

単純な記憶だけでなく、解釈や思考、基礎・臨床の知識を統合した問題も問われます。ブロック内であれば、前の問題に戻って見直すことも可能です。

顔面神経が通過するのはどれか。

- a 上顎骨 b 下顎骨 c 耳下腺
d 顎下腺 e 舌下腺

症例の診断を問う問題も

多選択肢型

問題によって数が異なる多数の選択肢から診断名を解答する問題が主ですが、最近は基礎分野の出題も。前の問題に戻って見直しが可能です。

18歳の女性。4ヶ月前に友人から少し太ったといわれてダイエットを開始した。55kgあった体重も現在は30kgしかない。家族にはやせすぎなのではと心配されているが本人はまだ足りないという。部活にもより打ち込むようになった。月経も来ていない。

診断はどれか。

- a 2型糖尿病 b 甲状腺機能亢進症 c 甲状腺機能低下症
d 亜急性甲状腺炎 e 汎下垂体機能低下症 f 子宮内膜症
g 妊娠 h 神経性食思不振症 i 単純体重減少性無月経
j Addison病

選択肢の数が多い！

順次解答型4連問

ひとつの症例について4問が連続で出題されます。診断する思考過程と、その背景にある病態の理解が求められます。解答すると症例文に続きが現れ、**前の問題には戻れません。**

(1/4) 9歳の男児。昨日突然、赤ブドウ酒を薄めたような尿が出たのことで母親に連れられて来院した。

- 医療面接で重要なのはどれか。
a 排尿の回数は多かったか。
b 以前に血尿を指摘されたことがありますか。
c 抗てんかん薬を服用していますか。
d 1〜3週間前に発熱しましたか。
e 1〜3週間前に腹痛・腰痛はありましたか。

情報が少ない！

(2/4) 9歳の男児。昨日突然、赤ブドウ酒を薄めたような尿が出たのことで母親に連れられて来院した。2週間前に発熱があった。

- この疾患で認められる所見はどれか。
a 浮腫 b 血圧低下 c 著明な体重増加
d 悪心・嘔吐 e 血尿以外には所見がない

解答すると症例文が追加される

(3/4) 9歳の男児。昨日突然、赤ブドウ酒を薄めたような尿が出たのことで母親に連れられて来院した。2週間前に発熱があった。眼瞼が腫れぼったく、下脛に浮腫を認める。

- 検査所見で正しいのはどれか。
a 貧血 b 高度タンパク尿 c IgA高値
d 血清補体価低値 e 咽頭培養にてβ溶血菌検出

(4/4) 9歳の男児。昨日突然、赤ブドウ酒を薄めたような尿が出たのことで母親に連れられて来院した。2週間前に発熱があった。眼瞼が腫れぼったく、下脛に浮腫を認めた。血清補体価低値、血清ASO高値であった。

- 診断はどれか。
a 慢性腎炎の急性増悪 b 溶血性感染後急性糸球体腎炎
c ループス腎炎（SLE腎症） d 急速進行性糸球体腎炎
e 慢性増殖性糸球体腎炎

「まちがえてた！」とわかってても…

前には戻れない！